

ウムチョ ムィーザ通信

No. 54

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



～ルワンダで教育を考える～

NPO法人ルワンダの教育を考える会
理事長 永遠瑠マリルイズ

「ルワンダの教育を考える会」を支えていただいている皆様に感謝申し上げます。3年前から何度かルワンダに長期滞在をするようになりました。その滞在の間沢山感じるがあります。発展途上国における教育の改善の様子を見つめさせていただいていますが、とてもたくさん課題があることに気づきました。

1994年のルワンダ内戦大虐殺の時にたくさんの教員が命を落としました。その後、国造りに必要な知識人が少ない中で大変なこともありました。

「ルワンダの教育を考える会」の活動を創めた頃は教育言語がフランス語でした。その後、国の新しい政策によって英語に教育言語が変わりました。

英語で教育を受けた先生がいない中で日本の皆様の支えのおかげでケニア人とウガンダ人の先生方を迎えて他の先生たちの指導に関わっていただきました。

ウムチョムィーザ学園の子ども達も先生方も一生懸命に頑張っています。先生達の教え方の向上のために2年4か月間の草の根プロジェクトを実施させていただきました。確実に成果が出て算数の成績が良くなりました。関わってくださった皆様に感謝いたします。

しかしながら、じっくり子ども達の様子を見てみますと、取り残される子ども達がいることに気づきました。ルワンダの長期滞在のおかげで保護者や子ども達にも話を聞くことができました。すると、給食プロジェクト支援で給食システムを導入することは出来ていますが、給食費を払えず朝ごはんも昼ご飯も食べていない子ども達がいることに気づきました。その子ども達は集中力が低下し授業についていけないのです。



ウムチョムィーザ学園に通う子どものお母さんに話を聞きました。彼女は生活が苦しくて娘の1学期の給食費を払うことができませんでした。すると娘は点数が下がりました。それを見て他の物を削り学校と相談して少しずつ払うようにしたら信じられないくらい以前よりも娘の集中力が上がり、2学期はとても良い成績をおさめました。給食が果たす役割は教育のためにとっても大きいと確信しました。

おなかをすかしている子どもにはどんなに良い先生がいて、質の高い授業をしてもなかなか勉強は身につけません。おなかを満たした子どもにはいろいろな期待ができます。健康を守ってこそ質の高い教育成果が子どもに望めます。そのために是非ウムチョムィーザ学園とミヨベの子ども達に給食を食べさせながら健康診断をし、それから学習力を伸ばしていきたいと思えます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。





NPO法人ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所からの報告

ルワンダ支援の会計報告

* 2019/7/31 現在時価換算による

期間：2019年4月～7月

単位：円

ADESOC	ミヨベプロジェクト	ルワンダ事務所	計
704,679	234,482	941,113	1,880,274

※ 日本の円をルワンダへ送金すると、日々金額が変動するので、報告額を単純に比較できないので、おおよそそのお金の動きとしてご理解願います。今回は 100 ルワンダフラン≒11.74 円で表記します。

ルワンダ事務所より

ルワンダ事務所責任者

アキンティジェ シンバ カリオバ

【ルワンダ最貧困地域ギチュンビ市ミヨベでのプロジェクト支援報告】

- 1 栄養バランスの取れた食事が出来るように、お母さんたちに月1回調理実習
- 2 0歳から6歳までの給食の提供
- 2 生活向上の一つに子ども達の読書習慣の定着の取組み
- 3 スポーツを通じた交流
- 4 国からの補助を受けて子ども達に牛乳提供
- 5 子ども達の身長体重の定期的な測定
- 6 畑の耕作指導(大河原会員から寄付の種・鍬・肥料も役立っています)
- 7 衛生習慣指導



給食



スポーツ



身体測定



調理実習



小学生も加わって読書



ミルクを飲んでいる



国の補助を受けて耕作指導

【課題】

- ・お父さんたちの参加が難しい
- ・読書習慣のためにも、年齢に応じた本の定期的な入れ替えが必要
- ・子どもの参加が、不定期なため統計的な身体測定が難しい
- ・今後より望ましい支援について指導者と保護者との話し合いが必要





「人と人のつながり」

広島市立大学国際学部3年 久永奈

ルワンダの教育を考える会の皆様、はじめまして。9月1日から10月16日までルワンダに滞在し、インターンシップという形でルワンダの教育を考える会に関わらせていただきました。初アフリカ、初ルワンダ、初1人海外と、初めてのことばかりで、不安と緊張が混ざった状態でスタートしました。でもインターンを終えて、私の人生で一番充実した1か月半だったと感じています。健康診断のお手伝いや、ウムチョムィーザ学園での運動会などのNPOの活動を通してだけでなく、ホームステイや多くの方々との出会いを通して、本当にたくさんのことを学びました。

ルワンダで一番強く感じたことは、「人の力」です。インターンをしていて、私は自分1人では何もできないことを痛感しました。例えば、運動会をするといっても、参加しかしたことがない私は、何をどう準備したらいいのか想像もつきませんでした。



積極的に協力してくださった先生方、ボランティアとして協力してくださった方々、楽しそうに参加してくれた生徒のみんな。本当にたくさんの方々が運動会のために力を貸してくださいました。誰が欠けても、あの運動会を作ることはできなかったと思います。人が集まれば、そのぶん人脈も知識も増え、何倍もの力になるということを強く感じました。



またミヨベを訪れたときも、「人の力」を感じました。訪れる前、ミヨベについて「歴史的に虐げられた人たち」と聞いて正直行くことに不安を感じていました。でも実際に行ってみると目にした光景は、村の人たちが集まって家を作るための日干し煉瓦を作っているというものでした。とても活気があり、人と人のつながりの強さを感じました。

これまでマリールイズさんたちが行ってきた支援の効果を実感しました。確かに、ミヨベだけでなくキガリでも、取り組むべき課題はまだあると思います。でもそうした中でもお互いに助け合い、課題に向き合いながら生活している様子がとても印象に残っています。たった1か月半という短い期間でしたが、「人の力」によってこれからどんどん成長していくルワンダが大好きになりましたし、その成長をもっと見てみたいと思いました。



最後になりましたが、今回の滞在でお世話になった皆様、また貴重な機会を与えてくださったマリールイズさん、本当にありがとうございました。ルワンダにいた1か月半は私にとって宝物です。学んだことを自分の将来に活かし、恩返しができるように、これから頑張りたいと思います。



ルワンダの旅



3回目のルワンダ・12日間の濃い旅でした。

岡村礼子（佐渡）

潜越ながら、今回の旅の私のミッションは2つと考えています。



「ウムチョムィーザ学園」での5年前の研究結果に基づいた「給食活動の持続」の動向を知り、対策を持ち帰ることで、活発な保護者会に出席させていただき大変感動いたしました。

もう一つは、昨年から有志で始めた ①「ミヨベ・パンツプロジェクト」（特に、子ども、その母親の衛生教育を含む）そして、②「自立支援プログラム（裁縫）第2弾」への支援です。少しでもお役に立てば幸いです。



長年お世話になっているマリールイズさん、ご家族の方初め、「ルワンダの教育を考える会」「ウムチョムィーザ学園」「ミヨベ」、「AMDA」の方々、そして何かご縁を感じる6人グループに感謝致します。大変有難うございました。

ムラコゼチャーネ！

岡村正裕

2019年9月11～22日まで、6名で「ウムチョムィーザ学園」、キガリ市内を中心とした美しい景観のギセ二、最貧地域の一つであるといわれるミヨベ地区、動物の楽園「アカゲラ国立公園」などを回ってきました。学園の子ども達は、勉強や休み時間にはサッカー、音楽など本当に楽しそうに過ごしていました。マリールイズさん、関係者の方々の努力のたまものと思いました。

一方で、ミヨベ地区の子ども達は、飲み水に雨水を利用していると聞きました。飲料水の安定した確保が難しい状況のように思われ、学園と比較したときに、経済格差（？）が大きくあり、とても心配な状況と思いました。今回の旅は、とても快適であり、マリールイズさん、夕食を作ってくださったイダさん、皆々様に感謝。

大塚修

今回、私は岡村さんのお誘いで初めてのアフリカ、ルワンダでした。治安等心配しましたが地方までゴミが無く綺麗で人も穏やかでした。大虐殺の悲劇を乗り越え大きく経済発展し人々が生き生きされている事に感動しました。



Rwandaful Summer2019

毎年恒例になっている「Rwandaful Summer2019」を今年も、郡山市中央公民館で7月15日に開催することが出来ました。



第1部ではマリールイズ理事長からの現地の活動報告や一昨年度から新たに取り組んでいる最貧困地区に指定されているミヨベでのプロジェクトの様子をパワーポイントを使用して報告しました。この地区の人々が抱えている問題や心のケアをし、未来ある子ども達とその親達の自立をサポートしていきたいという強い思いを伝えることができました。

また、今年2月に行われたルワンダへのスタディーツアーの参加者（新潟大学の学生サークルRWAN-JA：ルワンダの学生たち2人から現地での給食室で子ども達が生き生きとしながら給食を食べている様子や滞在期間中に活動した様子の報告がありました。



後半は、当会の理事である大寺智子さんから、今年4月にルワンダへ渡航した体験をもとに設立当初から当会の活動に携わってきて念願かなった渡航で、ウムチョムザ学園の校歌と算数の授業を現地で行った時の様子などの報告がありました。

JICA二本松からは、今年8月に横浜で開かれるTICAD7について、元青年海外協力隊員で現在JICA職員として活躍するお二人がアフリカで体験してきたことをもとにお話をされました。また、富久栄珈琲の中島茂社長からは、当日会場でも振る舞われたスペシャルルワンダコーヒーの興味深いお話があり、来場いただいた方々にルワンダの産業を支えるコーヒー・紅茶について広めるいい機会となりました。



第2部は、ルワンダから迎えたゲストMani Martin（マニ・マーティン）とDaisuke Katsumataさんによる音楽セッションで幕をあげ、楽曲『インババジ〜ゆるし〜』を披露し彼らの歌声に会場が包まれました。

また、郡山ザベリオ学園のコーラス部の生徒達と当会が支援を続けているウムチョムザ学園とをスカイプでつなぎ、未来をになう2か国の子ども達のパフォーマンスでフィナーレを飾ることができました。

昨年度に引き続き、福島県内外、多方面から多くの来場があり、トークや音楽をとおしてアフリカを身近に感じることでできた1日となりました。ホールでは、アフリカの布を使った小物や雑貨をはじめ多くの出店がありました。

また今回、初めての試みで、富久栄珈琲さんから、本場のコーヒーがご来場いただいたお客様に振る舞われました。また、JICA二本松による世界の資料を展示したブースなど、多くの方々がルワンダを身近に感じる機会となりました。



今年も、多くのボランティアスタッフの皆様のご協力により開催出来ましたことに感謝申し上げます。

〔会計報告〕

〔収入〕

チケット代	145,000
広告協賛金	105,000
寄付	51,200
募金	158
考える会	118,443

〔支出〕

会場使用料	24,410
印刷代	92,350
出演者費用	250,000
ボランティアスタッフ	21,000
昼食費用	
消耗品	32,041

計 419,801



30数余年、アフリカ・アジアを中心に、教え子達と海外支援をして来ました。そして、昨年ルワンダを訪問した佐野美和子氏（飯綱町）を通じて、ルイズさんと“再会”し、8月12日～23日に現地視察と教育支援をしてきました。貴会HPの“メディア掲載”をご覧ください。

ルワンダの子ども達のために、私のできる範囲内で協力致します。よろしくお願いします。

教育は平和と発展の鍵！

NPO法人ルワンダの教育を考える会は以下の3つの活動をとおり、ルワンダの貧しい子ども達の支援を行っています。

1. 命と平和、教育の大切さを伝える講演活動
2. 異文化理解のためのイベント開催
3. 民芸品の販売



1. 「ADESOC」が運営している学園への支援
2. 最貧困地区の子ども達の学べる環境づくりへの支援



あなたのご支援をお願いします

ルワンダコーヒー・紅茶通信販売のお知らせ

ルワンダの自立支援及びルワンダ文化の紹介の一つとして、直接コーヒー・紅茶を輸入しています。コーヒーはダックコーヒー様が日本での焙煎を引き受けてくださり、新鮮なコーヒーをお届けしています。

コーヒー	200g	1,200円	最小購入回数	5個	(送料込み)
	<p>コーヒーはルワンダの重要な農産物です。コーヒー栽培に適した自然環境と丁寧な作業が最高品質の生豆を生み出します。</p> <p>バランスの取れた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘み、クリーミーなコクが特徴的です。</p>				
紅茶	50g	300円	最小購入回数	20個	(送料込み)
	<p>紅茶もルワンダの重要な農産物です。</p> <p>華やかな風味も感じられるすっきりと爽やかな紅茶です。</p>				
発注方法	メール： info@rwanda-npo.org				

コーヒー・紅茶と共に「命と教育と平和の大切さ」が日本中に広まることを願っています。



ルワンダの子どもたちへ ルワンダフルクリスマス キャンペーン

ルワンダ北部に位置するミヨベ地区の子ども達の栄養状態改善のため継続した支援を行っています。12月1日～12月31日まで寄付・募金をお願いします。

ルワンダ写真展開催 1年間の当会の活動報告 2020.1

★各種振替口座番号のご案内です!★

会費振込・寄付・募金 (ルワンダへの支援をよろしくお願いします)

郵便振替口座：02290-0-97126
加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

会費 1 □
5,000円



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から
ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在60名登録

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—
3歳の孫が風に舞う落ち葉を追いか
け、虫の卵に感動！7歳の孫は朝の大
きな虹に幸せを感じ！一緒にチューリ
ップの球根を植えました。
春の花が待ち遠しい。
T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会
理事長 永遠瑠マリルイズ
〒960-8036
福島県福島市新町 8-21
TEL:024-563-6334 FAX:024-563-6335
ホームページ:<http://www.rwanda-npo.org>
メー ル : info@rwanda-npo.org

